



# おごびよ!

## 城山

### さとのいえへ



くにたち野菜を食す「青空ランチコンサート」を開催



▲くにたちの農の情報発信の拠点「くにたち城山さとのいえ」

収穫体験有無②参加者全員の氏名・年齢③住所④電話番号を明記のうえ、往復はがきまたはメールで担当窓口へお申し込みください。

### 「わいわい畑体験」 「里芋収穫体験と芋煮会」を開催

市内の畑で里芋の収穫体験を行います。収穫後は、みんなで楽しく芋煮を食べましょう!

日時 10月24日(土)の午前10時〜正午/午後1時〜3時  
定員 各回20名(申込多数時抽選)  
参加費 1人600円(当日に集金します)

日時 10月31日(土)午前11時〜午後1時  
定員 40名(申込多数時抽選)  
参加費 大人1千円、小学生以下500円(事前に集金します)

※3歳未満は無料ですが、保護者と一緒にお食事をお願いします。  
申込方法 10月16日(金)必着(までに①くにたち野菜青空ランチ会②里芋

### 共通事項

場所 城山さとのいえ(泉5-21-20)  
※駐車場はありません。  
申込先・問い合わせ 〒186-0005 泉5-21-20  
城山さとのいえ  
☎51-600  
✉sec\_sangyoshinko@city.kunitachi.tokyo.jp

### パパと楽しむ秋の収穫& クッキング参加者募集



▲スイーツポテトの完成品

いつも忙しい子育ての隙に、親子で一緒に野菜の収穫をしませんか。収穫後、お父さんとお母さんと一緒に料理をつくり、お母さんは料理ができるまで、井戸端会議を楽しみましょう。  
調理講師 村上 誠氏(NPO法人フアザリング・ジャパン理事)  
献立 おにぎらず、スイートポテト(けんちん汁つき)  
日時 10月25日(日)午前10時〜午後2時(雨天決行)

場所 城山さとのいえ(泉5-21-20)  
※駐車場はありません。  
定員 お子さんとお父さん10組(4歳以上小学三年生まで)  
※調理はお父さんとお子さんのみですが、お母さんも収穫体験と試食にぜひご参加ください。  
参加費 大人1人●●円、お子さん1人●●円(当日に集金します)

共催 城山さとのいえ  
申込方法 10月15日(木)までに、①パパと楽しむ秋の収穫&クッキング②参加者全員の氏名・年齢③電話番号④住所を、担当窓口へ電話、ファクスまたはメールでお知らせください。  
☎576-2111  
FAX 576-0264  
✉sec\_shichoshitsu@city.kunitachi.tokyo.jp  
問い合わせ  
市長室男女平等・人権・平和担当



## 旧国立駅舎再建築物

第2話 旧国立駅舎の誕生!

国立駅舎は、箱根土地(現在の株式会社プリンスホテル)が建築し、鉄道省(現在のJR東日本)に寄附した建物です。民間企業が駅舎を建築し、鉄道省に要望してできた駅(請願駅)は、全国でも極めてまれです。そうした経緯により、旧国立駅は大正15年に開業されました。開業当初、その洋風建築は、箱根土地が開発した「国立大学町」という理想的な大都市をめざすまちの玄関口として、个性的でしゃれた広告塔となりました。また、文化的なまち「国立」をイメージする駅舎として、長くまちの魅力を発信し続けてきました。今も赤い三角屋根の佇まいは、多くの方の心に刻まれているのではないのでしょうか。



▶開業時の旧国立駅舎。当時もたくさんの方でにぎわっていました

皆様への「旧国立駅舎の思い出を」  
旧国立駅舎の思い出を60字以内でまとめ(書式は自由)、作者名としてニックネームやイニシャルなどを記載のうえ、ファクスまたはメールで担当係へお送りください。選考のうえ、市報で紹介させていただきます。  
申込・問い合わせ 国立駅周辺整備課国立駅周辺整備担当  
☎576-0264  
✉sec\_kuniseibi@city.kunitachi.tokyo.jp



## はいいくにたち いきいき保健師です!



支援員と「び〜す」の様子  
通所事業「び〜す」の名称は「やったー」と達成感を持つ「や」と、パズルの1ピース=かけがえのない大切な存在という思いを込められてつきました。

### 子ども家庭支援センター 発達支援室 保健師編

発達支援室では、平成25年度からお子さんの発達についてのご心配やお困りについて保護者の方などからの相談事業を実施し、26年度からは、就学前のお子さんの発達に合う職員でありたいと思います。



## 「国立市消防団」が熱い!!

市内の災害時には、消防署と共に「国立市消防団」が活動し、消火や救助にあたっています。消防団のメンバーは、各々本業を持っていますが、緊急時にはあらゆる活動に従事できるよう、普段からさまざまな訓練を行っています。

「市民の皆さんと自分のまちは、自らが守る」という思いで入団したという方も多く、市役所の職員にも消防団員が何名もいます。  
「まちの縁の下の力持ち」であり、「地域防災のかなめ」でもある国立市消防団が、日ごろの訓練成果と活動技術の向上および士気の高揚を図るために、審査会を開催します。



▲披露する消防団のメドレー。訓練は真剣ですが、披露は笑顔です!